チリ通信

2024 年 12 月 22 日　第 16 号

JICA 海外協力隊　チリ派遣
環境教育隊員　境 純一

こんにちは！
12月も終盤に差し掛かり、だんだんと暑くなってきたことで夏を実感しています。チリで過ごす夏は今回が2回目ですが、こちらの空気はカラッとしていて、とても快適に過ごせています。

紫外線

任地では年間を通してほとんど晴天が続きます。晴れているとなんだが気持ちも明るくなるし、何より雨の心配をしなくていいのは本当にストレスフリーです。しかし、唯一不快なのが「日差し」です。こちらの日差しは年間を通してかなり強いのですが、夏になるとそれが肌を突き刺すようなレベルに変化します。本当に恐ろしいくらいの日差しです。実際チリは赤道に近く、南半球に位置するため紫外線の影響を受けやすく、その結果皮膚がんの発症率が高いとも言われています。ここで生活するためにはサングラス、帽子、日焼け止めの3点セットが絶対に欠かせません。

官公庁の建物にはこのように紫外線の度合いを示すボードがあります。（この日は Max の 11）。
また配属先から日焼け止めが支給されることもあり、紫外線対策はかなり重要視されています。

記念に一枚。

書道について説明する隊員。

日本の「書道」を紹介

12月上旬、二人の協力隊員とともに、任地の2つの小学校を訪問し、日本文化の紹介を行いました。今回紹介したのは書道です。はじめに簡単な書道の説明をした後、実際に紙に書く体験をしてもらいました。みんな上手に書けていたと思います。最後に、それぞれの名前を一人ずつ日本語で書いてあげたのですが、それを興味深そうに見つめる子供たちの姿がとても印象的でした。また、いつかこのような形で子供たちに日本を知ってもらう機会を作れればいいなと思います。

「夏のクリスマス」

街は現在、クリスマスツリーやイルミネーションで彩られ、キラキラした雰囲気に包まれています。ですが、外は当然のように暑く、みんな夏の格好をしています。そのためか、「クリスマス＝冬」というイメージが抜けない私は、いまだに不思議な感覚を覚えます。まるで別のイベントのようです。ずっとここに住んでいれば、こうした感覚にも慣れるのかもしれませんが、ここで過ごすクリスマスは今年が最後。そう考えると、少し寂しくもあります。